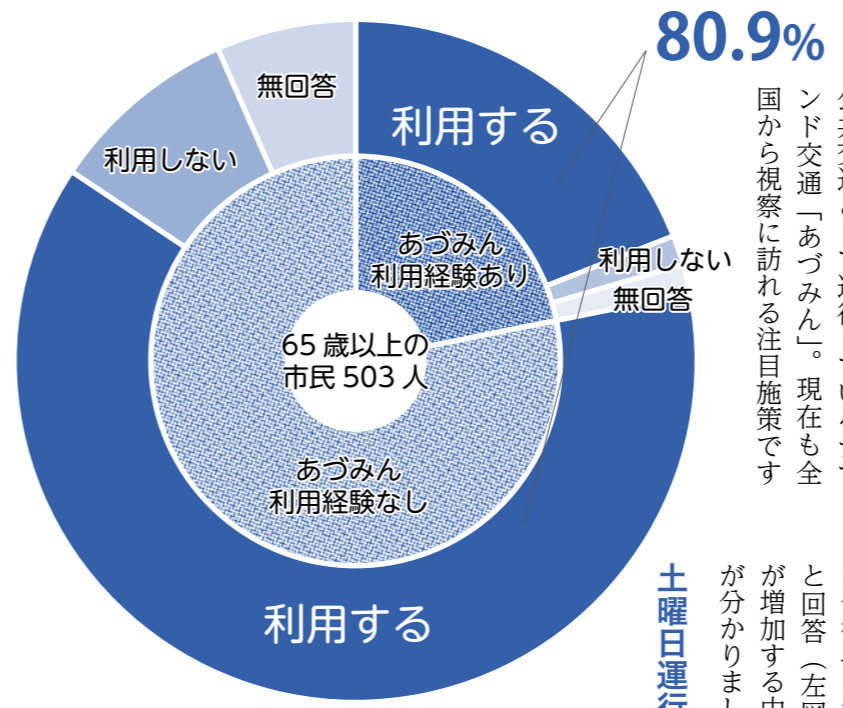


注目集まる「地域の足」

市の政策を連載で紹介いたします。
第1回は政策部。特命事項なども担当する
政策部の注目施策を紹介いたします。

気になる DATA

今後（将来）あづみんを利用したいか？



注目1
予約制乗り合いタクシー
デマンド交通あづみん

約8割が「利用したい」

平成19年から地域の足、地域公共交通として運行しているデマンド交通「あづみん」。現在も全国から視察に訪れる注目施策です

が、市民の皆さんからは、どう評価されているのでしょうか。昨年の3月に行った調査では、約8割が今後「あづみん」を利用したいと回答（左図）。運転免許返納者が増加する中、期待が大きいことが分かりました。

土曜日運行・増車を検討

具体的な意見をみると、運賃の安さやドアツードア（自宅までの送迎）のサービスが評価されている一方で、行き先によっては乗り換えなければならぬ、休日運行していない、お迎え時間や到着時間がはつきりしない、といった

「定時定路線バス」を充実

デマンド運行以外にも、東西の主要な駅を接続する定時定路線バスを運行しています。こちらも主な利用者である高校生のニーズを調査し、7月5日から新たな運行を開始しました。

具体的には、登下校の時間帯に合わせて便を増やし、各高校の近くにバス停を設置しました。

その結果、一日あたりの利用者数は約1.3倍となり、早速見直しの効果が表れています。

注目2 自転車を活用したまちづくり

まずは土台づくり

市では、令和元年度から「自転車を活用したまちづくり」を推進しています。この事業は、観光振興だけでなく、健康づくりや環境保全、自転車事故のない安全・安心な社会の実現などに向けた取り組みとなります。

これまで、サイクリング教室の開催や、市内高校の生徒会と連携し、ヘルメットの着用や自転車保険の必要性、施設徹底の啓発などを行っています。また、シェアサイクルは現在50台、シェアサイクルはポート16カ所に拡大し、主に

観光で訪れた皆さんに利用されています。

健康効果を実証実験

松本大学と連携協定を締結し、「自転車を活用した健康づくり実証実験」を3年間にわたり検証しています。実証実験は、参加者にGPS付の活動量計を配布し、運動日数や消費カロリーを計測するほか、年7回の教室を開催し、体力測定、講師による運動、栄養、自転車指導を行っています。本年度は最終年度となるため、健康維持にどのような結果が表れたのか、報告会や広報紙でお伝えする

サイクリングコースの整備

さまざまな年齢・体力・嗜好の人が自転車に乗ることを想定し、あづみ野やまびこ自転車道を基本とした3つのサイクリングコースの整備を進めています。Aコース（コース詳細は市HP）は、一部を除きルートを案内する矢羽根と看板を設置しました。安曇野ならではの風景、空気を感ぜながら、多くの皆さんにサイクリングを楽しんでいただけるよう活用を図ります。

マウンテンバイクコースの整備

北アルプスの麓に位置する安曇野ならではの地形を生かし、ほりてーゆ〜四季の郷、啼鳥山荘周辺の里山にマウンテンバイクコース



新しく整備された看板と矢羽根

一口メモ

「あづみん」のあらまし

あづみんは、山間部を除く市内全域を運行範囲とし、自宅から希望する目的地まで送迎します。一人で乗り降りができる方であれば、年齢に関係なくどなたでも利用できます。平日の8時便から16時便まで運行しています。運賃は大人(中学生以上)300円が基本料金。

自転車を活用したまちづくり

自転車を活用したまちづくりは、全国的にも活発な動きが見られる事業です。長野県は平成31年に推進計画を策定し、「県1周ルートの整備」や「あづみ野やまびこ自転車道の補修整備」などを掲げました。市でも来年3月までに推進計画を策定する予定です。（5頁参照）

部長ミニインタビュー

政策部長 高嶋 雅俊

市民生活を常に意識

昨年度は、新型コロナの対応に追われた一年となりました。「何を行ったら市民生活を守り、維持していくことができるか」を念頭に、国の臨時交付金を活用して各部の対策の調整を行いました。市民の皆さんの行政サービスへの期待や満足度を考えることが、政策部の価値であり、意義であると思います。各施策の効果の検証と改善、そして、新しい試みにもチャレンジしていきたいと考えています。すべての市民の皆さんが幸せになれるように、安曇野が活気に満ちた地域になるように取り組んでいきます。

その整備を計画しています。コースは傾斜を下るダウンヒルコースと、上りと下りを組み合わせたクロスカントリーコースを整備する予定です。

政策部の仕事

総合企画と調整、特命事項も

政策経営課・秘書広報課・情報統計課の3課で構成されます。市の政策の総合企画と調整のほか、皆さんに身近な業務としては、デマンド交通あづみん、広報紙やホームページによる情報発信、友好都市との交流、国勢調査などの統計調査、また、移住定住の促進、電子自治体の推進なども担当しています。

情報統計課では現在、「経済センサス活動調査」を集計しています。調査にご協力いただいた皆さまありがとうございました。

